



Faint vertical Japanese calligraphy on the left page, consisting of approximately five columns of text.

42
4305
13

Handwritten mark or signature on the right page.

29

ホ
4305
1

自來杖の序

以るものかきまゝのひびきけり
このかゝ候るつらさをいふは
よけいさるものなきは
才及のむらゝの心を
あはれはるるをいふは

たふあやまるといふはむさし田
長興のまゝにたふあやまるといふ
あつたかゝりてはむさし田のまゝに
もてあつたといふはむさし田のまゝに
つゝあつたといふはむさし田のまゝに
ふたふたのまゝにたふあやまるといふ

序ノ一

おのまゝにたふあやまるといふはむさし田
ひまゝにたふあやまるといふはむさし田
かゝりてはむさし田のまゝに
あつたかゝりてはむさし田のまゝに
もてあつたといふはむさし田のまゝに
つゝあつたといふはむさし田のまゝに
ふたふたのまゝにたふあやまるといふ

Handwritten text in cursive script, likely a signature or a short message.

安濃津の赤人高橋知周

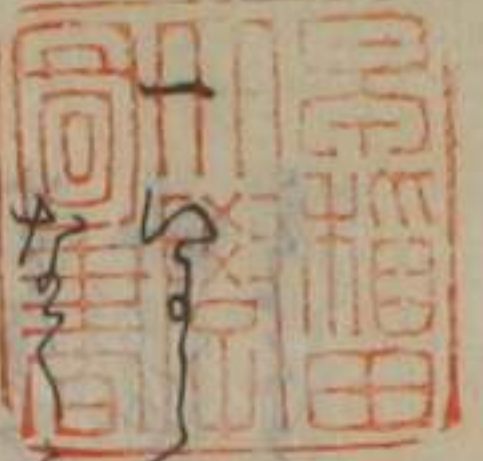
序ノ二

Handwritten text in cursive script, containing several lines of text with some small annotations or corrections.

Handwritten text in cursive style, likely a copy of a letter or a section of a book. The text is written in a fluid, connected script.

寺田長興

序ノ三



寺田長興の書

故
先光清風氏
大正三年十月
三日
先光華氏
寄贈

Main body of handwritten text in cursive style, continuing the content from the previous page. The text is dense and covers most of the page.

初

一 大乃のちねね...
おほの

一 堀江...
堀江

一 ...
あ

一 ...
あ

一 ...
あ

一 ...
あ

一 ...
あ

一 ... (木) ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

一 ... (木) ...

伊 いせ
物

清 清少納言
物

晴 晴冷
日

盛 盛衰
記

徒 徒然
艸

正 和字正
濫抄

大 大和
物

今 今昔
物

保 保元
物

東 東鑑
東

著 著聞
集

葉 和字
葉

位 位法
物

字 字法拾
選

平 平治
物

続 続古
事

色 多字
類抄

柄 古字
柄

落 落産
物

土 土佐
日記

平 平家
物

方 方平
記

考 冠辞
考

解 解集
略解

たのしきものありてしるべきもの

平康杖

い物

乃 十尺

は 十尺

よ 十九

ほ 二十二

へ 二十尺

せ 二十八

ち 三十

り 三十二

ぬ 三十三

る

を 三十四

わ 三十五

か 三十六

多助可^レ更^レ惠^上

い乃部

二云

口いろ 万伊呂

色 八いば 万伊波

盤、岩 木

いほ 古伊本

廬、菴 〇いほ 古伊本

五百 〇いへ

古伊幣

家 卜いせ 和伊刀系

〇いせ 万伊等

痛、甚 手いち 古伊知

市 〇いあ 古伊理入

〇いあ 丈 麓

捕魚のまゝ入の香なりし道はま

又いぬ

和以沼

大 日虫と妻沼とも見えぬれども大嘗を以奴乃た未此又標を定

手い

初

ハ 紀伊比 飯 ○ いハ 和伊比 槭 ⑦ いも 古

伊毛 妹 ○ いも 和伊毛 芋 ⑧ いせ 和伊世 國々

伊勢

三三

⑩ いろは 和伊呂 母 ○ いろせ 古伊呂 兒 ○

いろは 古伊呂 家才 ○ いろふ いろふんいろふ いろへんいろふ

保入係の義なとし いろは ○ いろは 和伊呂古 頭旅 雲脂

⑪ いはは 万伊波 巖 ○ いはひ いろんいはひ 万

比伊波 齋、祝 ○ いはゆ 和伊波由 嘸 ○ い

はや 和伊波 石屋 ○ いはむ 紀他又満を引り孫合 の略後をいし

⑬ いはひ 万伊波比 匍匐 ○ いはれ 紀 般石

余 ○ いはふ 和伊波兵 石見 ⑭ いほり 和

伊係 廬 ⑮ いがむ 古伊村 桃 ○ いとろ 万

万伊刀 暇 ○ いとろ 和伊刀古 後父兄才 ○

いとも いとほいとも 万伊等 厭 ○ いとろ 葉いといとろの略

⑯ いちめ 吏市女の ⑰ いろは 和伊知古 草々

覆盆子 ○ いろは 古伊知比 赤檮 ○ いろは

和伊知比 草々 ⑱ いろは 和伊里古

熬海胤 ○いぬん まいぬん

未考 ○いり乃 万伊里乃 山城 納野 ○又いぬる

乾成麦の ○いぬる 万伊奴留 往去 ○いぬる

字伊留加 大魚 鯨鮪 ○いぬえ 和伊奴夜 香葉 ○いぬる

ワ いわし 和伊和之 魚 鱒 ○か 紀伊首 巖

○いづ夷 万伊垣 非難 亦扇籬 ○いか 万伊柯尔

如何 ○いふ 字伊加 恨、忿怒 ○いか 和

伊加 筏、椽 ○いが 和伊加 務 ○いかり 和

里伊加 碇 ○いひ 和伊加比 貽貝 ○いか 和

多敷を河り 飯炊の ○いか 万伊加伎 搔 ○

いの 和伊加古 近江 伊香 ○いの乃 和伊加乃 せ

野 ○いのほ 著陣のいほほをまろ 末考 ③いひ

万伊古 流 ④いたる 古伊多 至 ○いづ 万

抱を河り 心 ○いたる 紀致を河り令 ○い

く 万伊多 久 痛 ○いづ 古伊多 痛手 ○

いとで 史風子のわしはあひまろ 痛切のこころ この痛手は ○

いたひ 和伊多比 折傷木 木入 ○い 及水蘊 手 を河り

○いたち 和伊多知 軸尾 ○いさ 和伊多知

播磨 迎達 ○いそふ 紀辛を河の ○い

そ貴 万己蕪 急 ○いそわ 支残田の ○い

そゐ 和伊曾為 竿井 ○いそふ 和伊そ布 石

生 ○いづ 紀齋を河の 齋傳の 某忌をそけの

○いづ 万五十観 ○いづれ 万伊豆 何

○いづ 古伊豆 何交 ○いづち 万伊豆

何路 ○いづる 和伊多 也 ○いづ 万伊

流 和 ○いづ 和伊多 泉 ○いづ 和伊多

伊多 又 ○いづ 和伊多 和泉 ○いづ

和伊豆 和伊豆 和雲 ○いづ 和伊多 者度

○いなむ 續伊多 辭 ○いかせ 後撰 辭

○いな 和伊多 市南 ○いな 和伊多 大和

引依 ○い 和伊多 稲 武彦 ○いな 和伊多

伊多 伊多 周幡 ○いら 和伊多 薨 ○いら

れ 源被苛の ○いら 拾 應 入敢の

○いら 紀 債 を河の ○いむ 字伊年

輔 ○いむ 和伊多 生見 ○いむ 盛

優美の ○いふよき 稀頭の ①い乃ふ字

伊乃 祈禱 ○い乃ち 古伊能 令 ②い

ら 洞夷等の ○いぐし 万五十 齋串まら 申 被串まら

○いぐち 和以久知 唐割 免缺 ○いぐち 古伊久 理

海底の石と 志字 ○いぐは 紀的を測り ○いぐ

し 紀軍又射を測り 禁 ③いぐひ 和伊久知 伊具比魚 之

くぐひの家 又舎りし ○いぐし 万伊久 夷多の ④いぐ

け 和伊久波 音波 ○いぐれ 和伊久れ 越後 勇禮

⑤いやし 万伊夜 早賤 ⑥いもの 古伊麻 陀

未 ○いまに 古伊麻 在 ○いまし 万伊麻 思

你、汝 ○いまし 紀乃を測り 正 ⑦いまき

東侍中群鳥今本注奉仕之節湯敷人祈着衣と云 林秘抄平家物河湯巻と云いゆを云いこれをもゆか ⑧い

けい 和伊今須 籟 ⑨いあや 紀安忍を測り 正 ⑩い

息生の音 ○いさき 万伊許 蒸 漕 ○いさい

万伊許 自以奈徳 ⑪いでは 和以天波 ⑫いざ

り 万伊射 漁 磯りの音と云い ⑬いざち 古伊依 血

泣 ○いさぶ 和伊依 砂 ○いさし 古伊依 少

○ いさむ 紀長支料師を引り ○ いさむ 字伊佐年

詢、諫 ○ いさみ 万伊佐勇 ○ いさみ 字伊佐年

筋 いさみ 遠のきえりの物 ○ いさみ 万伊佐勇 ○ いさみ 字伊佐年

参 ○ いさば 和伊佐波 石木 ○ いさば 和伊佐波

海鬘 ○ いさふ 煩難を引り息切の略なり ○ いさふ 和伊佐波

ゆぎ 万射行 いさふ 往 ○ いさふ 字伊弥 緯 ○ いさふ 和伊佐波

いさき 紀石柳を引り ○ いさき 和伊佐波 石田

○ いさき 和伊佐波 石田

○ いさき 和伊佐波 石田

良 馬 いさき 杏葉 ○ いさば 和以比係又以守兼往手更邊之思

いさ又いさめ いさき 朧又朧 ○ いさば 和伊比保 播 揖保 ○

いさ乃 和伊比乃 入農 ○ いさ乃 和伊比保 齋食の

○ いさ乃 和伊比乃 齋食の

○ いさ乃 和伊比乃 齋食の

○ いさ乃 和伊比乃 齋食の

○ いさ乃 和伊比乃 齋食の

久 岩崩 ○ いさむ や 况、矧 言平の ○ いさむ

○ いさむ 万石床を 引り ○ いさむ 万伊尔 古

いへがも 紀易侯 通毛 雖 ○ いへがも 字伊倍岐

鷗 ○ いへがも 和伊倍仁礼 草 兔葵 ○ いへがも

万家畏そ 川 ① いとがも 字夏久利以 也奈年 管 ○ いと

をし ② いとがも 又遊絲を引り ③ いとがも 又無暇の 略

いとがも 又紋を引り ④ いとがも 又無暇の 略

いとがも ⑤ いとがも ⑥ いとがも 字伊也 恣 奈志

○ いとがも ⑦ いちがも 和伊知久良 正市倉久

肆 ○ いちがも 万標柴を 字標を一比 乃末とえ ⑧ いち

やがも ⑨ いちがも 又筒を引り 草

⑩ いりかせ 字伊利 加世 堂々 今ゆきせ ともいなり ○ いりあひ

拾入相して月の 河入頂を引り ○ いりあひ 和伊利毛乃 肉腫之 臍 ○ い

りむぎ ⑪ いぬたぐ 和以奴多天 草 紅

草 ⑫ いさすあ 和以半 止利 漁子 ○ いさすあ

和伊字須伎 草 高陸 ⑬ いかがち 和伊加 雷 ○

いのがが 字伊加留加 鳥 鷗 ⑭ いかがの 又蓋を 引り

○ いのがが 万伊往還 ⑮ いのがが 草 威猛 又を引り

⑯ いなが 字伊与々加 本長鳥 本結々 ⑰ いなが 和伊 也

た岐 山頂之 嶺 ○ いなが 万伊多 右岐 頂戴 ○ いなが

ら 万伊多 徒 ○ いさげ 拾 勞 痛手着の

○ いさばし 万伊多 波新 勞 ○ いさざり 万伊多 度利

いさ 踏 ○ いさげ 和以老如伎 今戲射箭 平頭箭 ○

いさ いけ 盛痛免の 〇 いさざり 和伊老如利 虎

杖 ○ いれひも 古今内叙の書に繁々細雄細とり今も 〇 いさざり 源

〇 いそがひ 万磯貝解 〇 いそが 〇 いそが 源

〇 いそばく 万伊燕 解 〇 いそざり 字伊老 止利 嚙

〇 いさざり 字伊老 〇 いさざり 万伊老 解

〇 いさざり 波新 〇 いさざり 〇 いさざり 万伊老 解

いさ 〇 いさざり 新古 何將の 〇 いさざり

電 ○ いさざり 和伊老 〇 いさざり 粒

〇 いさざり 紀郎子又娘子を引り 〇 いさざり

〇 いさざり 大無背の 〇 いさざり

〇 いさざり 羊桃を引り

〇 いさざり 紀戒を

〇 いさざり 紀戒を

〇 いさざり 紀戒を

〇 いさざり 紀戒を

④ いけよへ 和伊計 犧牲餽 ○ いけどり 万生取

虜 ⑤ いぶせし 万移文 勢兵 替悞 いふしをいけん精の 名づりおとしるの某日

○ いぶす貴 和伊文須岐 薩广 揖宿 ⑥ いふよの 紀

皮窳を河の ○ いぶさる 多齋菴を 河り ○ いぶ乃

ふ 古伊基 能布 ⑦ いざかめい いざかめい いらん いらん いらん

万伊射 名比 ⑧ いさち 紀功勳を河り 材のいさちと いらん いらん

め 万伊佐 々采 卒尔 ○ いぶよふ いらん いらん いらん 万伊 佐

用 猶預 ○ いさいの 万伊佐 々可 聊 ○ いさいの

采 聊 いさいの ○ いささる 海いささる ○ いささぶ

字伊佐々 鮎 ⑨ いさゆ貴 万息豆 息突の 伎 名々 ○

いさ乃を 万免 緒 玉の結々 ○ いさほひ 名 勢を 河り

競 秋息 競とえ ○ いさくは 和伊岐久 依草之 景天 ⑩ いみ志

貴 狭 忌愛の 名々 ⑪ いささ 字 石豆 伎 鏢 ○ い

い 和伊之 須島 礎 ○ いさぶ 矢 碑を河り 石文の名々 ○

い 乃ち 和以之 乃知 鐘乳 ○ いさち 和伊之毛知 魚々

鯨 ○ いさぶ 和伊師布之 魚々 鯨 ○ いさか 和

伊之加采 山中 毒々 秦龜 ○ いさくら 万石右を 紀景行天皇十 二年天皇初

將討賊次于柏峽大野其野有石長六尺廣三尺厚一尺五寸天皇祈之日朕得滅土蜘蛛者將蹶茲石如柏葉而舉焉因蹶之則如柏止於大虛之々いししかかるといふ

○いしばし 和以之 波之 石 ○いしざひ

和以之 石灰 ○いひやよ 字伊比止与 鳥之 鷗 ○い

ひあや 和伊比阿里 赤蟻 ○いひむろ 後撰 飯

乃 ○いひしろ 和以之之 昔江 邑代 ○いもろ

和伊毛 妹 ○いもがさ 菜 飽瘡 和之 菜瘡 いの 累の なま

○いもがら 和伊毛 加良 芋莖 ○いりかゆ 字 和以毛 加由

署積粥 ○いすく 古伊須々 いの 菜瘡 すす

五云

○いはき 古今 石清水 万石をいはし 川の ありの二を おきり ○いは

おむび 齋肌 草の 葉を 懷妊の 女用い ○いはほ 和以 波

夏々之 羊躑躅 ○いはほ 和以 波 巖 せいの 木之

○いは乃か 和以波乃か 波 石韋 ○いは 和以 波乃

和以波久須利 石辭 ○いは 和以 波乃

の ○いはお 和以 波乃 石 ○いは

ひ ○いは 和以 波乃 石 ○いは

石走 ○いは 和以 波乃 石 ○いは

の ○いは 和以 波乃 石 ○いは

手 ○いは 和以 波乃 石 ○いは

百重浪 ○いほむし 和伊保ヤ之利 檜榔

○いへりいも 和以用お 羊 ○いへりごり 万家

を引の鶏を ○いよき 源幼稚を引の材いよき

いよき ○いよき 万伊等乃解いよき

いよき ○いちじろ 万伊知之 灼然 ○いちご

延一速 嚴捷 ○いちび 市邊の ○い

ぬじもの 万伊奴時鹿児し物 ○いぬ 字大和

狗脊 ○いぬ 河の ○いぬ 河の

乃 万新射宮考新射鹿 ○いぬ 乃伊乎

江魚腹中 脬 ○いわけ 狭幼稚を引言別

○いわけ 源いわけなるもの ○か いのばかり古今

針 ○い 万何方を ○い いよやがし

痛矢串 ○い 和以多幼 連翹

○い 和伊等乃加兵 石 古齋島 ○い 今巖島

○い 和以多幼 ○い 万愛を

○い 和以多幼 ○い 万愛を

○い 和以多幼 ○い 万愛を

電 ○い 万稲莖を

いなぶまる 和以素右万尾 虫 とく 炸鱈 ウ いらなげ 右

伊良那 苛嘆の 和久 養 ○ いらひ免 紀以良部 比 郎姫

④ いちぶら 多軍を 河 ○ やい 色 苟を 河

⑤ いまにがり 伊 葉にいまけ在の養之けあの及かくし一説に 時をくさくさしおのいさふか^ハ在のをを注せり 再後見骨

⑥ いさかのり 紀万尾舎儼 考鯨魚取^ハとまらぬとまらぬ^ハ案 流^ハて小魚取の養^ハ又ち^ハけ^ハかく^ハ

⑦ いさ 少あ^ハの 養^ハえ ○ いち 紀 潔を 河^ハの 勇 清しの 養^ハと^ハり ○ くい 万伊伎騰 保流 憤

⑧ いさ 万伊伎騰 保流 憤 ○ くい 万伊伎騰 保流 憤

⑨ いさ 万伊伎騰 保流 憤 ○ くい 万伊伎騰 保流 憤

⑩ いさ 万伊伎騰 保流 憤 ○ くい 万伊伎騰 保流 憤

い 二み 紀 生靈を 河 ○ ⑪ い 万 射 目

立而 射都立而 の 養^ハえ ○ ⑫ い 和以之波 之 波 禰 ○

い 及投石を 河 ○ ⑬ い 和以比之 養

算 ○ い 大言支の 養^ハえ ○ ⑭ い 比

⑮ い 万日夏良 言 禰 比 ○ ⑯ い 比

か 中 神 万 妹 門 妹 神 養^ハえ ○ ⑰ い 万

伊 須 久 考 勇 細 養^ハえ 万 伊 須 呂 比 ○ ⑱ い 万 伊 須 呂 比

波 之 養^ハえ ○ ⑲ い 万 伊 須 呂 比

い 養^ハえ ○ ⑳ い 万 伊 須 呂 比

④ いほしるをさ 万五百代 拾芥抄、七十二歩、為十代五十四代為

① いもふりのみ 支厭神と狐狸の敷をいふれ 後を祓ふると紀元なり

かさ 和以知は乃 加佐 櫛椽 ② いぬあらく哉 多秣藪を

○ いぬのひほし 和以奴加比 係之 牽牛 ○ いぬ乃た

まひ 和以奴乃ち 未比 大官 ③ いづかば 源類を引り 梁といふ

④ いづかば 万伊茹藤 乃花 解といづかば

○ いづかば 和以夏夜 乃夏夜 藤用字

⑤ いづかば 和以毛之 乃刀先 姨

七三

⑥ いばか 先岩垣紅葉 乃葉之 ⑦ いのすめ 和以夏夜 乃夏夜

⑧ い 平巖物作 乃葉之 ⑨ い 和伊多知波 之加夏 未之

蔓椒 ⑩ い 和以祢夏波古 乃夏之 ⑪ い 和以祢夏波古 乃夏之

⑫ い 和伊奈波保 世度利 ⑬ い 和伊奈波保 世度利

ろ乃部

○ ろ 縁袴をき使に指引の 六位の袍のこゝろ

手 ろは

波乃部

二云

① 波へ 和波用 蠶 ② 波竹 万波豆 ③

○ 波ふ けんちん 万波布 匍匐 ○ 波ふ 活しほし

和波布 岐行 ○ 波ふ 万波布 延 草木又繩

④ 波え 夕たえ又 万映を河り 葉の字を 河もかせりえ

波え 草本その和波島 生 萑 ○ 波え 和波延

鯨 ⑤ 波じ 支 黄檀 もみちいなり云 ⑥ 波じ 續

氏流

土師

和土師を波之と云 埴師の略云

三云

① 波い 万 紀驛を河り 早馬の寄云 やいを河り ○ 波い 紀集

河りやひの ② 波い 和波以可 羽床 ○ 波い 和

波伊多 濠波 林田 ③ 波い 和波々曾 柞桶 ○ 波い

か 和波々か 朱櫻 ○ 波い 字波々枝 苧蓆

○ 波い 和波々 箒 ○ 波い 和波々古 前

菊 ○ 波い 和波々枝 伯耆 ④ 波い 和波

之 黄檀 ⑤ 波い 和波延 植生

手

① はへき 和波用波又 榎 羽 はり 和波利

針魚 カ はがひ 万羽我比 羽 鳥さうり はり 葉

八溝をき ② はた 和波右 膚 倍 はら 拾

二十を削りた ③ はり 右今 極枝の 羽 は

④ は 延初穂 三代室縁 早穂二十文と ⑤ は 極

の略 ⑥ は 弛を削り ⑦ は 糸 ⑧ は 糸 ⑨ は 糸 ⑩ は 糸

⑪ は 糸 ⑫ は 糸 ⑬ は 糸 ⑭ は 糸 ⑮ は 糸

⑯ は 糸 ⑰ は 糸 ⑱ は 糸 ⑲ は 糸 ⑳ は 糸

㉑ は 糸 ㉒ は 糸 ㉓ は 糸 ㉔ は 糸 ㉕ は 糸

㉖ は 糸 ㉗ は 糸 ㉘ は 糸 ㉙ は 糸 ㉚ は 糸

㉛ は 糸 ㉜ は 糸 ㉝ は 糸 ㉞ は 糸 ㉟ は 糸

㊱ は 糸 ㊲ は 糸 ㊳ は 糸 ㊴ は 糸 ㊵ は 糸

㊶ は 糸 ㊷ は 糸 ㊸ は 糸 ㊹ は 糸 ㊺ は 糸

㊻ は 糸 ㊼ は 糸 ㊽ は 糸 ㊾ は 糸 ㊿ は 糸

㊿ は 糸 ① は 糸 ② は 糸 ③ は 糸 ④ は 糸

⑤ は 糸 ⑥ は 糸 ⑦ は 糸 ⑧ は 糸 ⑨ は 糸

⑩ は 糸 ⑪ は 糸 ⑫ は 糸 ⑬ は 糸 ⑭ は 糸

⑮ は 糸 ⑯ は 糸 ⑰ は 糸 ⑱ は 糸 ⑲ は 糸

於 腹帯 ○ ばらわく 和波良 大腸 ○ せくらば

ふ 万腹婆 匍匐を ② ともむさげ 和波年佐波 武藏 榛澤

ウ ほうもち 兼 寶物の ③ ばまゆふ 万演木綿

右邊ゆの ○ ば方を貴 万演萩 萩の ④ ばま

わひ 和波未波非 蔓荊 ⑤ ばふぞ乃 和波布を能

祝園 ⑥ ともじゆみ 古波士 櫛弓 ○ ともいのみ

古波士か 薑 ⑦ ばひ乃貴 字波比 檀 ⑧ せせき

ば 古今 和波發勢年 芭蕉 蕉せうのきかゝるせせき

五三

ハ ともそげ乃 万波々蘆葉 考 柞葉 ⑨ ともきほ

し 和波々木 彗星 ⑩ ばへくらひ 和波用波良比 白

拂 ⑪ ともくおゆめ 和波を於 促織 ○ とも

す 旗芒を列す 異 ⑫ ばけくろひ 和波お

比 殿 ⑬ ともねのけら 万葉根 解 少女の髪 飾 なる物

⑭ ばなれえむ 玉宴 ○ ともかほし 万花細

か けいあいの ⑮ ともられふえ 和波良乃 大角 衾 義

ウ ともちやう 庵丁 ⑯ ともわかう 古今 百和

⑰ ともははら 万演葛 ⑱ ばふはら乃 万

延葛を
② はしむふ 万著向 考之著ハ

○ 平家黄楹白
③ 多月之

波比未由良 杜仲

六云

④ はちひ乃 和波知須乃 ⑤ 波比

むし拾 促織虫 ⑥ 今放生舎の

⑦ はあや乃 源 藤姑射刀角 ⑧ 左虫の

和波之加良 鯉鱸

七云

⑨ 和波加利乃 權衛 ⑩ 和

⑪ 古波比毛堂 ⑫ 富呂布

糸乃糸

二云

⑬ 和仁波 ⑭ 万、海之の群 ⑮ 和仁倍

⑯ 和仁倍 ⑰ 和仁倍

⑱ 和糸布 ⑲ 大和

⑳ 和 ㉑ 和

尔之 虹 ⑤ よひ 万糸比 新

三云

① よい 和尔伊多 仁多 ② よば 和尔波

曾 ③ よば あ 万糸波 俄 ④ よば ひ

和迹波 燎 ⑤ よほ ひ 万糸保 艶

句、婢媛 ⑥ よほ 万令丹を引 ⑦ よへ さ 和甚を

膠 ⑧ よよ ひ 万糸糸 荷

⑨ よな ひ 万糸糸 荷

⑩ よ乃 を 万荷之緒 を

⑪ よあ を 狭似相の緒 ⑫ よい を 字之踏を不弥

⑬ よひ も 万新裳 を ⑭ よひ せ 和糸比世 彦中 庚妹

⑮ よひ も 万新裳 を

⑯ よひ も 万新裳 を

⑰ よひ も 万新裳 を

⑱ よひ も 万新裳 を

⑲ よひ も 万新裳 を

⑳ よひ も 万新裳 を

㉑ よひ も 万新裳 を

さらぬ...の梅...
 神功の御...
 かくれ...
 鳥能布...
 万丹類布...
 万丹津改...
 源女御...
 和仁...

- ① 万丹類布
- ② 万丹津改
- ③ 源女御
- ④ 和仁
- ⑤ 和夜
- ⑥ 新川
- ⑦ 新膏
- ⑧ 新居
- ⑨ 朱櫻
- ⑩ 鶏
- ⑪ 和波
- ⑫ 女房
- ⑬ 乃

早稲田

未考...
 和夜...
 新川...
 新膏...
 和波...
 女房...
 乃...

和波...
 朱櫻...
 鶏...
 和波...
 女房...
 乃...

和波...
 朱櫻...
 鶏...
 和波...
 女房...
 乃...

酪 (キ) よきほし 字仁支波之 賑

(ト) よひまご 和仁比万久依 菅之 筒 如

六云

(ハ) よばくれがし 和尔波久奈布記 鶴 鷄 (ホ) よほ

さねばな 新後撰 不香花之 集 万丹穂之為 衣

解之ほし 衣之ほし (ノ) よほはれがし 万丹穂面 解之紅顔をよ

(フ) よふ乃まそほ 史新其緒の 善之 (ヒ) よひたまそ

万新 手松を 門の

ほ乃約

二云

(イ) ほい 源布衣の 菊之 (○) ほい 源 本意の 菊之 (ホ)

ほく 和保々 頬 (一) ほへ 紀 康倍 燦火 (工) ほえ

ほゆる 和保由 啼、吠 耕、ほゆる 之、ほゆる

三云

(イ) ほい 和保伊多 穂北 (カ) ほがひ 紀 壽を川

ほまの 迎之 (○) ほがひ 平 行器を川に 正ふまに注 ぎり今元本に 一、ほそ

ほ 和保多之 白英 (○) ほそぢ 和保多之 蕨 肌

④ ほりえ 古本如延 末枝 ① ほ乃か 盛 燭の火

秀の ⑤ ほ夷ぢ 支 葉の岸險を以 ② ほくひ 古除道の邊

字保志比 ⑥ ほぢ 和保之々 乾肉之 ③ ほひひ 乾魚

字保須比 燭

四三

④ ほくけ 和保々須分 ⑤ ほくまふ 万保々

麻例 ⑥ ほくまふ 和保々天布 ⑦ ほくまふ 和保々天布

鳳蝶 ⑧ ほくまふ 源 正之斂味屋せり合味 ⑨ ほくまふ 和保々

⑩ ほくまふ 和保々夏夜 ⑪ ほくまふ 和保々夏夜 ⑫ ほくまふ 和保々夏夜

⑬ ほくまふ 和保々夏夜 ⑭ ほくまふ 和保々夏夜 ⑮ ほくまふ 和保々夏夜

⑯ ほくまふ 和保々夏夜 ⑰ ほくまふ 和保々夏夜 ⑱ ほくまふ 和保々夏夜

⑲ ほくまふ 和保々夏夜 ⑳ ほくまふ 和保々夏夜 ㉑ ほくまふ 和保々夏夜

⑳ ほくまふ 和保々夏夜 ㉒ ほくまふ 和保々夏夜 ㉓ ほくまふ 和保々夏夜

㉔ ほくまふ 和保々夏夜 ㉕ ほくまふ 和保々夏夜 ㉖ ほくまふ 和保々夏夜

㉗ ほくまふ 和保々夏夜 ㉘ ほくまふ 和保々夏夜 ㉙ ほくまふ 和保々夏夜

㉚ ほくまふ 和保々夏夜 ㉛ ほくまふ 和保々夏夜 ㉜ ほくまふ 和保々夏夜

㉝ ほくまふ 和保々夏夜 ㉞ ほくまふ 和保々夏夜 ㉟ ほくまふ 和保々夏夜

㊱ ほくまふ 和保々夏夜 ㊲ ほくまふ 和保々夏夜 ㊳ ほくまふ 和保々夏夜

へ乃効

二云

④ へちま 鷹 綜緒を 河の

可矣と
へちまの

三云

⑤ へいし 盛 瓶子 以世平氏と
之が所の

⑥ へいし 神楽舞 電
河別當の
例に

四云

⑦ へいし へいし へいし 字及良
河の

備便 ○

へいし 万満付経を

五云

○ へいし 字 涪後の河
例に

へ乃効

二云

⑧ へいし 古今常盤の
畧に

⑨ へいし 字 十重を
河の

⑩ へいし 字 十重を
河の

手
と

○ 紀長命人を列す

○ 紀人の略歴なるし

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

○ 紀長命人

大小魚をとりしるるはちよのり万の河を保志居之と云々。河の大
なるといふはちよのり万の河を保志居之と云々。河の大
いしるるはちよのり万の河を保志居之と云々。河の大
注しるるはちよのり万の河を保志居之と云々。河の大

ひや 万等保志 考きくをいふ
わ 比也 人をいふと云

万遠放 遠離 万等騰已 保里 滞

り 万等利お々 取續 ○ とも乃

ふえ 和鳥乃 吭 ○ とも乃わ 和鳥乃 腕脛

○ ともあひ 徒不取教 のきく ○ ともかよ 紀鳥往來 枕を河り

○ ともはへる 古取塞を 河り ○ ともじゆの 万鳥 枕自

物鴨自物の 波世 闘鷄

ら ともむや 和刀良倍 囚人 口 ともかへ

長 ともへ 紀永久を河り常 万變のきく

○ ともげま 及常疲を河り 万草法をいふ ○ ともろげま 古

小古名 夏良 解蔓 ○ ともいもの 万等洋自 枕物 ○ と

あがしあ 及展粘を 河り 毛 ともいげま 万支端 及良 枕と

妻をいふ いると云

六云

お とも乃まのり 万等保乃 解を國の府又兩國をハ 朝廷 右宰府なりをいふと云

○ ともあふま 万等保如安布美 和止保太阿不三 遠江 ○ とも

ちのり 赤 幸侍 ○ ちのり 源 幸の招

① ちのり 多 幸 廬を ② ちのり 万 跡見辰 解

古常磐堅磐を ③ ちのり 万 跡見辰 解

獸の跡を人をも

七云

④ ちのり 多 幸 廬を ⑤ ちのり 万 跡見辰 解

ちのり 紀 新年を

八云

○ ちのり 万 跡見辰 解 之用止里 鶴 鶴

ちのり部

二云

① ちのり 拾 千重の ② ちのり 古 今 千の

千々々 ③ ちのり 和 知 ④ ちのり 知 頭 ⑤ ちのり 菜

軸の ⑥ ちのり 支 子 枝 の ⑦ ちのり 智 恵

⑧ ちのり 源 帙 簀 を

三云

⑨ ちのり 万 千 羽 日 幸 ⑩ ちのり 幸

夜知波 禪 ㊦ ちびむ 多編を 〇 ちびく 正

齧齧 ㊧ ちわあ 古知和 道別の ㊨ ちかあ

ちのせんちのひ 字知か 布 折言 〇 ちがふ 兼 違 ちの ぶに

ちのふ ㊩ ちよふ 兼 徴のまゝ又 個 寵乳 ㊪ ち

らふ 万散相 散を近 ㊫ ちうや 平泉 晝夜の

㊬ ち乃わ 史 第乃 輝 ㊭ ちねも 和知 旅 母

乳母 ㊮ ちやう 聴帳町 頂 換 ㊯ ちしほ

史 千 境 ㊰ ちもく 公 除 目 の 河 例 へ

に云

㊱ ちあひぢ 和知 利 比 治 塵土 〇 ちあかあ 古 今

散 齧 の 約 係 〇 ちあほひ 源 散 ち け ひ ㊲ ち

かひく 万知 可 近着 ㊳ ちやうじ 止 止 の

〇 ちやうし 長子 の 音 ㊴ ちらへ 兼 万知 良 散 流

散 を 活 〇 ちおおひ 兼 児 生 の ㊵ ちひさ

和 小 縣 を 知 比 依 加 古 と 見 小

五云

㊶ ちげやぶ 古知 波 夜 紀 残 賊 又 強 暴 を 〇 ちがふ 和

㊷ ちびく 兼 和 知 波 久 留 臆 眈 〇 ちがふ 和

知々加布見 鱈 カ ちからがは 和知賀良 加波馬 逆

靱 ノ ちのや 和知乃夜 痔 ヤ ちや

しよ 兼廳新の ニ ちゆ 多重代の

○ ちゆ 甲陽軍濫 忠孝の ○ ちゆ 佐

川 右津伐の ヒ ちひ 和知江依加多 小

縣

六云

千 ちの 和知乃波久依 紫参 カ ちの

川 あふ 和知加津河不三 近江 ニ ちゆ 志や

中將 ヒ ちひ 和知比依木 石衣

七云

ア ちあ 延道響糸を キ ち 和知

か 和知波利加字 柳

り乃

二云

ウ り 榊留流ひき フ 粒立

三云

手

③ 𠂔龍の喜 ④ 𠂔良雨量涼令

字同

𠂔

⑤ 𠂔和利字古今 林檎 ○ 𠂔右

𠂔古今新膳の喜 和衣夜更之依
一云逆加奈と云

六云

⑥ 𠂔縁縁殿 𠂔中殿

𠂔部

二云

⑦ 𠂔古奴更和日 𠂔ぬんぬんぬん

字奴布 縫

三云

⑧ 𠂔字奴奈波 尊 ⑨ 𠂔紀拭を

活のあま

𠂔

⑩ 𠂔天白を ⑪ 𠂔和印顯虫

手 ぬ

上

額着 (ノ) ぬ乃ねが 和奴乃 白布帯

五云

ハ ぬはあぐら 和沼波利久佐 王孫 (ニ) ぬえく

イ 乃 古奴延久佐 考ニ草草の義ト云 能 たるぬのあり (キ) ぬきこのふ

ロ 和沼木の布利 継車 (又) ぬまのはれ 空被盜

ミ

八云

○ ぬひごのけのき 和奴比止乃々 縫殿寮

る

を乃初 男雄尾小端等 びれもたの 假字

二云

ハ ちば 和字字波 伯母、叔母、姨母 (一) ち一 万巻 散

を 竟 ○ ち一 和字倍 雄家 (チ) ちちち 方遠 知

遠 ○ ちち 万遠知 宜長云をちち初のかゆをいり鷹 乃長所こも放れりをもちかやんきとら鷹の

允鳥職 老翁 ○ ちち 字字比 伯父 ○ ちち

和字知 草臺 (リ) ちちり 万手利 折 ○ ち

手 るを 三十一

わ 紀節又度を ○ をま 多格を川り

ル をふ 万手流 居 ④ をく 紀越々 唯々

カ をか 古表加 丘、岡 ⑤ をく 小田の

をく 和年多 越前 少名 ⑥ をそ 和年多 瀬

⑩ をた 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

り ① を乃 和年能 芥 ⑦ をね 和年 呼

嗽 梯之呼旅の二中もる一とくい今もそいりなり和年しめい注せ

⑧ をく 万手解、海を招呼 ⑨ をけ 和年計 多器え 桶

② をえ 古表延 瘼 ④ をけ 和年 字

③ をけ 万表家 麻筒 ⑤ をあ 古表汗 今

⑥ をえ 和年能 芥 ⑦ をね 和年 呼

⑧ をく 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

⑨ をけ 和年能 芥 ⑩ をね 和年 呼

⑪ をた 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

⑫ をけ 和年能 芥 ⑬ をね 和年 呼

⑭ をく 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

⑮ をけ 和年能 芥 ⑯ をね 和年 呼

⑰ をく 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

⑱ をけ 和年能 芥 ⑲ をね 和年 呼

⑳ をく 万手那 小谷 今田畑うねり小谷のま又山のま

口 をるち 古表尾 **腕** ハ **をばな** 万手波 奈

尾心 〇 **をばり** 万手波 里 **終** 〇 **をばり** 万手波

里 尾張 **ニ** **をよふ** 万手波 布 **遠敷** 木 **を**

ほね 和手保 **尾株** ト **をらり** 万手度 利 **媒**

鳥 注 少養雛子至長押人 能招引野難也 〇 **をさふ** 古遠堂 古 **男**

〇 **をらめ** 古き 登 **少女** 〇 **をざり** 万手共 里

雄 〇 **をざり** 万手杆 **躍** 少 **をらり** 万手 鳥

利 心のほろむ 〇 **をらり** 万手男 **雄々** 志 の

カ **をらり** 万祀又侵を列 カ 〇 **をらり** カ

ひ 万手か 岡方の 〇 **をがむ** 紀鳥 里 **拜** 齋 を

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

カ **賞** カ 〇 **をのし** 字阿奈手 **可咲** 可 カ

怖の...
似...
今...
万字...
現

① 万字...
今...
万字...
現

② 万字...
男人の...
古本...
万字...
現

③ 万字...
和字...
伊勢...
麻績...
万字...
現

④ 万字...
和字...
信濃...
小内...
万字...
現

⑤ 万字...
新舌...
万字...
万字...
現

⑥ 万字...
解...
紀島...
童男...
万字...
現

⑦ 万字...
和字...
麻鞋...
後撰...
万字...
現

⑧ 万字...
紀毒...
万字...
万字...
現

⑨ 万字...
和字...
万字...
万字...
現

考 ○ 万字...
和字...
尾...
鞆...
万字...
現

○ 万字...
和字...
字...
鱧魚...
万字...
現

④ 万字...
万字...
治...
万字...
現

⑤ 万字...
万字...
兔...
万字...
現

⑥ 万字...
和字...
駿河...
他田...
万字...
現

⑦ 万字...
和字...
万...
万字...
現

⑧ 万字...
清...
俗...
万字...
現

⑨ 万字...
和字...
東折...
万字...
現

⑩ 万字...
和字...
万...
愛情...
万字...
現

(七) ちも乃 紀 稷を列す食
物の畧也

に云

(八) をばなち 万小放 解をの祭
解をの祭

万字刀如 前日 祭、彼津日之中
一昨日ハ俗語云々也 〇 をしし 万前
年

を列す 〇 をしし 古今昔近又彼此
を列す

ちぢぢ 紀 儒弱を列す 祭、無男道
の畧也云々 〇 をぢぢく

旧條を列す 祭、小松云々
の畧也云々 〇 をぢぢく 万昔方を
列す

(九) ちぢぢえん 古今節映の 〇 ちぢぢひ江
伊 志字か時 節を列す 〇 ちぢぢひ江
をぶ

折櫃 〇 ちぢぢふ 伊 志字か時 節を列す 〇 ちぢぢひ江
をぶ

はら 和字か 波良 〇 をのほら 和字か
本云 楓

(文) をぶちま 史 麻手卷
の畧也 〇 をしけふ 紀 鳥

盧 雄 誥 〇 をそま 伊 万、旅保字を土
の畧也 〇 をしけふ 紀 鳥

まのし 〇 をむかめ 和字か
奈 〇 を

むのひ 万 峯 向を 〇 をるえ 和字か
江 〇 を

〇 をのく 字 卒 乃々 〇 をるる方 史
の畧也

小車の 〇 をやな 史 緒柳の 〇 をけを
知 〇 をけを

乃 和字か 毛乃 牡 〇 をぶる 和 尾 袋 尾 鞆
〇 をぶる 和字か 須万 出 男 衾 〇 をはく

万宇佐々々々 専 ○ をばがめ 万壯士時を ○ をさ

かろし 紀不肯又不敏を河の 材を長の知るにす ○ 牛 を費むし 和

宇彼堂之 今又取者もす 帆樓 ○ を費なげ 鷹の具 葉を招索の具

① をしもの 紀飲食を 河の ○ をし かけれ 手

加波 柔皮 韋 ② をせがりの 源 紀、望見ををせし河の 正、徳のかしん、徳ををせし

りふくえかれば背の ちくか免をもいひたえ ③ をんぐに 万食國を 河の

五三

④ をばなふゆ 康富記 古ら藤の黒根をましくしものすまて 早稲の葉やまをてしちゆしもの

⑤ をはせが 浩男莖形を河の 葉、陽元形 の葉しもの ⑥ をん

くし 和宇カキ カ之草 赤箭 ⑦ をのし 貴 和

宇か土々伎 草 苻菴 ○ をかき 和宇か土々 之 茵

芋 ⑧ をし 紀明直を河の 長々浦の葉 ⑨ をみ 和

るを 色 小忌衣を 河の ○ をみ 和宇英宗 娘

郎志 女郎名 ⑩ を 史抄草の 葉なすし

六三

⑪ をる乃も 万宇居乃波 山をさすの ⑫ をけ

くちふれ 史尾羽折振の ⑬ をも 和宇 刀

古柱 橋梁之左右之柱 懂柄 ⑭ をかた 古今 葉、賢 本をさ

いへし 振瀬の本を... 又貴宴の寄... 拍を... 此本のか
... 神の... 洗... のれ... 此本のか... 此本の

① 万雄自物を 万雄自物を 万雄自物を 万雄自物を

も 万宇良毛許 彼面此面 乃母 の音え

七云

② 二云の 二云の 二云の 二云の 二云の

③ 年奈役 年奈役 年奈役 年奈役 年奈役

④ 平依年苗 平依年苗 平依年苗 平依年苗 平依年苗

九云

○ 和字依年苗 和字依年苗 和字依年苗 和字依年苗 和字依年苗

わ乃幼

二云

○ 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の

三云

⑤ 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の 葉：弱未の

⑥ 分米の 分米の 分米の 分米の 分米の

⑦ 解 解 解 解 解

⑧ 之良受 之良受 之良受 之良受 之良受

⑨ 盛皇子の 盛皇子の 盛皇子の 盛皇子の 盛皇子の

手わ

四十一

キ わぢへ 古和伎 吾家 ③ わぢ貴 和和之

土佐 和食

巴云

イ わいため 紀別を河内 ④ わらば 万和々

葉々未葉の葉うかきをしよとよひえ 解々をしよひししよひひえ ⑤ わのうぢ 伊和人の葉々

⑥ わららふ 万渡相 滋るを近 ⑦ わらび 和和古々

和和 海神をいふやそ 少童 ⑧ わらび 和和古々 比草々

葯習 和木天蓼 ⑨ わらび 和和良比 伊勢 度會

⑩ わらび 和和良比 煩

⑪ わらば 和和良波倍 俣子 ⑫ わららふ

和和良 布衣 圓座 ⑬ わららふ 金草鞋を河内和々

和和良 ⑭ わららば 万遊遊を河内けり 濁り河内

⑮ わららえ 和和久 梶 ⑯ わぢはひ 之実比 禍

榮々正 ⑰ わぢを貴 紀俳優を 葉々態招の 河内 葉々へしえ

⑱ わぢやふ 辨 分蹈の 善り

巴云

⑲ わらば 万遊遊を ⑳ われをか 丈正うぢ

末考 ⑳ わらばやふ 和和良波夜天 二日一發病之 瘧 ㉑ わら

ぢやう 多王城の ○わ了ぢやう を横行の

② われれ かひ 万忘貝 一様の男あき

六云

○ わせん やう 字 わせんを人をもつていふ

七云

○ わさほのかげら 万早穂乃獲を

か乃部

二云

① かい わ加伊 櫂 ○ かい わ加以 枕 腹中虫

② かは 万加波 河、川 ○ かは わ加波 皮

③ かは わ加波 顔、面 ○ かは わ加波 榧子 木ノ子

○ かへ わ加用 栢 ○ かへ 万可倍 替

④ かし わ加治 穀 ○ かし わ加治 櫛 ○

かし わ加治 鍛工 ○ かし ま

か持の ま ⑤ かし わ加治 買 ⑥ かし わ加治

古加比 貝 ○ かし 古加比 狭 ○ かし 和加比

穎 ○ かし 字加比 雙 ○ かし かへる 古加比

飼、養 ○かひ 和加比 匙 ○かひ 古今

かひまかひなうしなるとるり 葉と花のちり ○かひ 和加比

甲斐 ○かひ 万加受 數

三三

① かい 字加伊 鷄 ○かい 和加伊 草

② かはち 和加波 圃 ○かはら 和加波 尾

○かはぶ 字皮おのり ○かはぢ 万加波 河

○かはは 万加波 支 ○かはら 紀河系

○かはべ 字加波 肌 ○かはひ 万河津 蛙

○かはや 和加波 廁 ○かはな 和加波 菜

○かはら 紀加波 甲 ○かはる 貴宴

可波 替、更 ○かはわ 和加波 河曲 ○か

はひ 和加波 川合 ○かはし 和加波 志

合志 ② かよは 和加仁 樺 ③ かへ 後拾

○かへ 万可 敵 海 ○か

へ 万覆 又返を ○かへる 和加用 帳 巻

○かへる 和加用 流 鷄 ○かへる 和加倍 流

○かへで 和加用 天 鷄頭樹 ○かへる 和

加倍留 鹿蒜 (ト) かごふ 後撰 字之法を止不らん

り かあほ 万可里 倭廬 (○) かあふ 又

新生の (ナ) かをる 字可字 薫 (ワ) かわく

字可和 乾 (カ) かへ 帛 抱を河の 葉之从抱の (○)

かひ 万耀歌を河の 葉之かへあふの葉そけあふかへり又 常陸風お記之筑波山の糸日男女集舎

可歌 通 (タ) かさけ 衣 毛片おろり出る河たさし源 氏物語又いせ物語をいへんえりりん

布 中つせぬと又さうさよいなるのいせ物語をいへん人の所具せぬとたさく

し (ヨ) かよふ かつけん かよひ 万 演繁露云々嗜人はも不具をいへん又

し (○) かわわ 源 車の片掃りの物さく河たさし 葉之

倚 缺を河の砂石集も 車さうのいせ物語をいへん (○) かわく 衣 傍を河の片方

(○) かわえん 万片枝を 河の (○) かわぬ ねか多 乞見

正 傍居の (レ) かれひ 万可例 餉 乾飯の (○) かれ

ひ ねかれは 王餘魚 (ツ) かぞへ 万可蘊倍 數

(ツ) かげく 拾被を河の かげけ物 (○) かげき 古

加夏 彼 潜 (○) かげち 字加夏 釘 (○) かげら ね

加夏 注 髪少者所以被 助甚髪之 髪 (○) かげら 古加夏良 蔓草之 葛

(ナ) かなひ かねん かなふ 万可奈 適、合、叶 (○) かな

一 字加奈 返 鏝 (○) かなふ ねか奈布 筑前 金生

⑤ からえ 和加良 夜 草麻 ⑥ かうし 葉枯子

ほく ○ かうじ 源 字、甘橘を加牟志しんんんんかうしハ
老後之令相子と云又棋王篇姑南切橘属と云

○ かうべ 和加字 倍 骨 上方の 倍

○ かうい 源 更衣の 漢書更衣 注、み休息

⑦ か乃え 庚 今の兄の

⑧ かやゐ 任 高陽院の 漬例

○ かまふ 字加万不 犬声 襟 ○ かまふ 和加万不 在 蒲生

⑨ かけぢ 及 碓通の 弱 ⑩ かふち 和加布切 國 河内

○ かふが 紀鹿深 ⑪ 甲笑 ⑫ かたふ かたふん かとふ

令 園 恒履の約る きおの約る ⑬ か黄ば 拾 堅好 ○ か

へ 和加支倍 近 驛 高泉 ⑭ かしひ 和加之比 本 椽 ○

かしば 和加之波 本 櫛 ○ かし 和加之爭 洗 治 笑

集 ○ かしひ 和加之比 筑前 香椎 ⑮ かひお 和加 比

右 可かよと 蠶 ○ かひた 字加比 京 眩、肘 ○ かひお

和加比右 もろ子 卵 ⑯ かもえ 和加毛衣 長 鴨柄

巴毛

⑰ かいま 紀視私屏を削り 鉄同具の事也 ○ かいがや 和加以 加也

と野 桂置 ○ かいり 撥取の ○ かいじり

源 撥練の ○ かいがね 和加伊加祿 肩下之 胛

ハ かはがめ 和加波加 鼈 ○ かはむし 和加波

之 烏毛虫 ○ かはほね 和加波保祿 骨蓬

○ かはほり 和加波 保利 幅幅 かのりのとま かのりえ ○ かは

たけ 和加波 多計 箸 ○ かはなみ 字加波奈弥 白鬚

石 ○ かはちり 字河知 佐 賣子木 ○ かはらふ 万

變布 變ること迄 いるり ○ かはらけ 字土器を削り 尾器の鬚 ○ か

はゆし 徒 醉 眠 しの 略 酒 ぬし ○ かはらる 源 湖月抄とすは 中のりといふ

ぬし ○ かはがせ 和加保 波世 顔面 ○ かはげれ 万

貌 花も 和加ほりのこと 河なり 解 是の御を呼ぶ名をいふは又のほろふは榎木なるといふは

かほり 和加ほりのこと 河なり 解 是の御を呼ぶ名をいふは又のほろふは榎木なるといふは

○ かはのり 史 むすひにたすまはしむものかほりの事 未考

○ かはあみ 万返見 顧 ○ かはらひ 万還比

ゆゑを迄 ○ かはのり 史 是の人の名をいふものかほりの事

未考 ④ かはらび 和加知 和炭 ○ かはらわ

和加知 織師 ○ かはらき 字加知乃木 榑

リ かりきひ 古新杖 枯杖の 〇 かりしほま

新時を潮の節に遠まね 〇 かるいし 和加留浮

石 〇 かりひ 万能化 解かひ 〇 かりよ

万加我 かりやく 〇 かりな 右加賀 考

紀堅 〇 かりひ 万可多 浩を延

〇 かりはむ 万加多 解かひ 〇 かりほ

万堅地 今縁かきぬを地 〇 かりひけ 和加

比 〇 かりひ 多 船を河の

汁 標子 船首の 〇 かりひ 多 船を河の

ツ かり乃美 万可頭乃 解か穀の本丸 〇 かりくる

所被の 〇 かりらく 万可頭 志字 〇 かりきめ

和加夏 潜女 〇 かりら美 古可頭良紀 葛城

十 かなほ志 和加志 鐵杖 〇 かなひる 〇 かり

〇 かなほ志 和加志 鐵杖 〇 かなひる 〇 かり

連枷 〇 かりを美 祚未音 体源抄に枯萩又枯 〇 かり

〇 かりあゐ 万韓 藍 〇 かりほひ 字

〇 かりあゐ 万韓 藍 〇 かりほひ 字

加良 菅草 ○ からむじ 字加良 年角 菜 ○ 加

らうふ 盛懸合の略 ㊦ かうかい 禁 加伊 撥

の毫 ㊧ かうふわ 和加字 布利 冠 ○ かうしん

兼庚申の ㊨ かう乃う 毛 功能の ○ かうけ

ち 今 纈纈の毛 ㊩ かうきけ 字 髪除の ○ 加

う やく 檢膏菜の ㊪ かうらん 菜 高欄の

㊫ かうろふ 万 隱合 隱を近 ㊬ かうけふ 万 可若

かきんを ㊭ かうかたけ 五云かきのあわ ㊮ かうけ

波志 記加愚 馨 今かきしと ㊯ かまきう 和加万

麿 ○ かまけの 和加万 桐 ○ かすけの 和可

加魚之 鮓 ㊰ かけたけ 和加介奈波 胃索 ○

かけらふ 万 翔経 翔を近 ㊱ かげろひ 新古

り ㊲ かげろふ 和加介長布 蜻蛉 ㊳ かふらん

ま 河内女 ㊴ かさらひ 万 飾氷 餅をのろ

○ かきを貴 記 風 招を列 ㊵ かきろひ 古

可癒 大 火 龍又 日のま ㊶ かみね 和加良 霹靂

漏肥 ㊷ かいせき 休 棗 恐仕の ㊸ かいせき 清 粥杖

四月十日 粥を焼く 木と削り 杖を しまかき 女の 髪をうけて

① かひろく 和加比路之 和不安之 妙 ○ かひたす 和加比 多古

貝隋 ② かせげ 和加勢の 鹿杖 ③ かげがひ

字加須 加比 録 ○ かげまへ 兼教への 杖の 活之 登之

五云

④ かいけ 拾鷲子石を引の いさひのり ○ かいもち 徒

搔練餅の 略 ○ かいたる 史搔のいさ ○ かいお ゆるをりの

ほら 和末 鳥案抄 植敷之 ○ かいほ 史和鶴 櫛

⑤ かげやな 和加波夜 兼史 水楊 ○ かげら 和

加波良 布知 草莖 ○ かげく 字加波之 文佐 蒲草

○ かげね 和加波祿之 史 女青 ○ かげみ 和加波乃 加美 河伯川津

多師子矢 を引の ○ かげの 和加波乃 加美 河伯川津

○ かげび 和加波乃 路毛 裘 ○ かげびら 字

加波比 良古 蝶、缺 ○ かげね 史山あろし の

⑥ かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史

⑦ かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史

加戸新也 弥 再病 瘡 ○ かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史

はの を引の ○ かげ 和加波乃 史 かげ 和加波乃 史

若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者 若者

久 高字 考 ㊦ かるがゆゑ を故を引り 駱 在故の

カ かんばらひ 源榮、掛連の義とん ㊧ かのりあふ 正、執掌を引り

カ か、登、登、登 ㊨ かのをなみ 万箇乎無 干箇のなみ

○ かのちのよひ 史万、肩、肩、肩、此を万欲布 ○ かの

わ え、か、わ ○ かのの 史、和、撫、鷹、をか

○ かの か、へ、位 参差 方連の ○ かのちけふ 紀

阿 黨を ㊩ かの 葉、偏、ち、ま ○ かの か、は、ぶ、あ 和、か、ち、ま 梶

牛 ㊪ かねひげ 和、か、れ、比 ㊫ かの か、ぞ、い

る は、え、た、又、を、か、そ、と、引 ㊬ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 和、か、は、ぬ、ぐ、は 和、か、は、ぬ、ぐ、は

依 麻黄 ○ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 機

蠟 ○ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 鏢

和 か、は、ぬ、ぐ、は 桔槔 ○ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 鏢

㊭ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 草麻 ○ かね

㊮ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 万 神、夏、神、集、の

㊯ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は ○ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は

○ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 阿 和、か、は、ぬ、ぐ、は

結果 江、原、の、か、え、繩、を、今、集、り、し ㊰ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 史 車

手 ㊱ かね 和、か、は、ぬ、ぐ、は 史 車

鈔 ① かぶら 万鹿兒自物 枕 まじしものた ② かの

づふ 万可伎加 掃帚 の ③ かんげ乃 和加良

國之と野 ④ かんげ乃 和加良不依 ⑤ 徳 ⑥

かまげの法 和加良夏 神祇官 ⑦ かも 万

鴨自物 鹿兒自物のた

六三

① かい 後拾 掃帚 の ② かはら 和加良

加波良 与毛收 白蒿 ③ かはら 和加良 菊 ④

かはら 和加良 賣子木 ⑤ かはら 和加良

和加波々 之加良 呉菜萁 ⑥ かはら 和加良 長生を

⑦ かん 土龍を ⑧ かん 拾

⑨ かん 古今 ⑩ かん 返

⑪ かん 雁使 ⑫ かん 故

⑬ かん 解 ⑭ かん 解

⑮ かん 和加良 ⑯ かん 和加良

⑰ かん 和加良 ⑱ かん 和加良

⑲ かん 和加良 ⑳ かん 和加良

多白膠を (ウ) かすれ多かり 芝香烟 (ノ) かの

わのげ乃和鹿乃和 鹿茸 (ケ) かけ乃多を万

可鶏乃岳尾 (フ) かぶらみ和加布良 白頭蝟

(ミ) かみ和加良於 若菜 (モ) かもと古之菜

糸万鴨之和

七云

(ハ) かばら乃え和尾乃衣 櫻 (○) かばら和加波良

乃和加波良 (○) かばら和加波良

衛矛 (ウ) か和加波良 拾 柿の葉和加波良

(ニ) か和加波良 顧

八云

(○) か和加波良 後食饋

年
朱
枝
上
統

